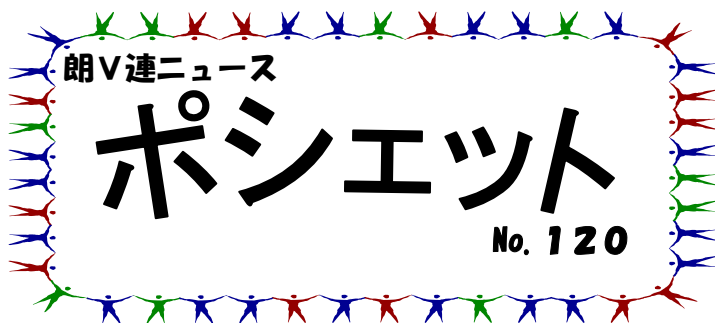




発行日 平成 25 年 12 月 10 日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第27回 朗V連交流会 盛況のうちに終わる

秋も本番を迎え、会場いっぱいの参加者の熱気に包まれて第 27 回朗読ボランティア連絡会交流会が 11 月 19 日（火）午後 1 時から、兵庫県民会館「けんみんホール」にて開催されました。

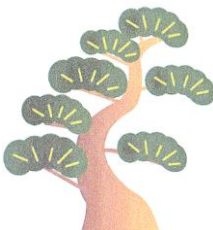
朗V連の 27 グループと一般参加の方も含め、230 名余りの方々にご来場いただきました。ご多忙の中ご来賓の皆様、公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団湯川常務理事はじめ多数ご出席頂き盛会裏に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

第 1 部では、トビアの会（西宮市）と、むつみ会（高砂市）の 2 グループによる朗読発表が行われました。『再会』まれにみる人生模様の風景とでも言える、外から垣間見た元家族を、見事な朗読で語って下さいました。『平和への想い』谷川俊太郎の詩と松谷みよ子の短編朗読。朗読の話術により心が伝わる素晴らしさを教えてくださいました。

第 2 部では、狂言師 茂山逸平氏のお話と狂言の公演でした。

お話「狂言のいろは」では、びっくりしない・突っ込まない・自分の世界で笑う・正におおらかな芸です。能楽＝能と狂言を言う、狂言は愉しんで頂く為のお芝居、古典芸能ゆえハードルが高いとしり込みしていたが、吉本のコントやね、とのお話に幾分か古典芸能を楽しめるかなと思いました。話術の上手さの虜になったひと時でした。

狂言の「寝音曲」を鑑賞して。さてもさても・・・大名の膝に頭をおいて謡われる声の響きの素晴らしいこと。頭が上がると声が萎み、下ろすと又、朗々とのびやかな声になる。繰り返すたびに「ほほう」と感嘆の息がもれました。いつのまにか、立ち上がり謡いながら踊るクライマックスに大きな拍手を送りました。せりふも現代風の滑稽さでわかりやすいのも意外でした。こんなに面白く親しみが持てる古典芸能を身近に感じ、日本的所作の良さを学んだ一日でした。



第 1 部、第 2 部ともに充実した時間を過ごし、出席グループの紹介、おしゃべりなどで交流も深められたようです。楽しくあっという間の一日でした。

交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動につなげていきたいと思います。

♪ 第1部で朗読発表を下された方々の声 ♪

トビアの会

「朗V連交流会に出演させていただいて」

朗V連交流会に出演させて頂いて有難うございました。「再開」という作品を選び、出演者それぞれの個性を活かせるよう練習を重ねました。そして作品に丁寧に向かう事の大切さを学びました。また、語る難しさを感じながら朗読をする喜びを経験致しました。発表を終え、皆様の心温まる拍手を頂いたときホッとすると同時に、これからも読み伝えることを大切に、頑張っていきたいと思いました。幹事の皆様に心より感謝致します。

マリア幼稚園トビアの会 畠中 知子



むつみ会

温かな拍手を頂いた瞬間、それまでの緊張が安堵に変わりました。むつみ会の「平和への想い」は皆さまの胸に届きましたでしょうか。

朗読発表の舞台は貴重な経験です。
お力添え頂いた皆さま全てに感謝しております。

むつみ会 黒沢 明美



♪ 交流会アンケートより ♪

第一部 朗読について

- * トビアの会ー再会 わかり易くしっかりとした読み。むつみ会ーそれぞれの個性豊かな表現。
- * よく練習されたんだと聞き入っていました。心を打つ朗読だったので、とても良かったです。
- * 二つのグループの朗読に変化があって とても楽しめました。選ばれた題材もよかった。
- * 再開の朗読はとてもストーリーの展開にハラハラ感があり、のめりこんでしまいました。

などのお言葉をいただきとても好評でしたが、次のようなご意見もありました。

- * 物語でなく「詩」を聞くのは少し疲れる。
- * 音響が大きかったのでは？
- * マイクの感度が良すぎるのか、息の音がどん、どんと入っていた。

第二部 狂言について

- * お話も気さくで楽しく、「寝音曲」はさすが。
- * 素晴らしかったです。たくさん笑いました。
- * とても興味深く楽しいお話を聞くことができました。日本の文化を大切にしていきたいと思います。

第27回交流会に参加して

グループ「虹」小川 康子

第1部、グループの研鑽を積まれた朗読は素晴らしく、私たち「虹」も更に学びを深めたいと気持ちを新たにしました。第2部、茂山逸平氏の公演は勿論、いい声を出すということの奥深さ、面白さに、まさにスペシャルゲストだと得した気分で帰路に着きました。連絡会の皆様、開催にむけて骨折られたことと存じます。有難うございました。



NHK巡回朗読セミナー

10月8日(火)神戸会場25名、10月9日(水)姫路会場26名の方が、NHK巡回セミナーを受講されました。長時間にわたってのセミナーでしたが、皆様熱心に取り組まれ、実り多き一日だったようです。講師の先生および受講者の皆様からの声を紹介します。

神戸会場A B混合コース

齋藤 季夫 先生からのメッセージ

初めての方が多かったのも、こちらの話が少々難しかったのではないかと反省する点、大です。
全部の課題を何とかしようと悩むのではなく、何か一つ(たとえば「間」とか、名詞を切らんと云うとか)を考えてみよう、取り組んでいただければと考えています。

受講生 アンケートから抜粋

- ★ 意味をつかんで話す様に言うことと、意味のあるところで「間」を空けることが難しい。
- ★ 「自分の読みに気付く」とても勉強になりました。1年間勉強して、来年も参加したい。
- ★ 意味・内容を伝える大切さ、音の高低・間などとても勉強になりました。
- ★ なかなか「間」「息遣い」「高低」が出来ませんでした。

神戸会場Cコース

河路 勝 先生からのメッセージ

全国巡回朗読セミナーを始めて20年、今も変わらないご協力を頂き第1回から神戸を担当している一人として心よりお礼申し上げます。朗V連の活動と、日本語センターの活動とが、深いつながりを持って、今の朗読レベルを築いていると感じます。**個々の課題の克服こそ、このセミナーの直接的な目標ですが、合わせて進化しつつある朗読技術にも目を向けて、新しい方法論に焦点を合わせた勉強をしたいと切望します。**

受講生 アンケートから抜粋

- ★ 細かな点まで、丁寧な指導だったのでよかったです。自分が気を付けなければならないところがよく解りました
- ★ 「音歩」という日本語の読み方を教えて頂き、新しい朗読の仕方に挑戦できるように思います。声の出し方や音色によって内容の深まりが異なることが解り、とても勉強になりました。
自分では解らない声の強さを教えていただき、これからの課題として取り組んで行きたいと思っています。
- ★ きめ細かな指導に、自分の弱点を気付かされ、大変勉強になりました。



姫路会場Bコース

河路 勝 先生からのメッセージ

台風が無難に通過して、安心してセミナーが出来ました。皆さん、とにかく熱心にめげずに取り組んでおられたので、活気がどんどん出て、充足感がありました。日頃は、ボランティア活動の中で、技術が足踏みしている所もあるでしょうが、このセミナーなどを一つのきっかけとして、課題克服の為に、前向きに勉強されることを切望します。**半日の進歩 恐るべし。**

受講生 アンケートから抜粋

- ★ これからの読む目標が見つかってとても良かった。
- ★ 日頃、自分の読みでおかしいのではないかと思っているところを、ズバリ指摘され理解できた。
- ★ 分かりやすい指導で、文章を読む事の難しさと同時に楽しさもわかってきました。

姫路会場 C コース

齋藤 季夫 先生からのメッセージ

皆さん普段色々考えながら読んでいることが良く解りました。疑問を素直に出してくださり有難いことです。朗読は、どうしたらいいか、定まったらえ方法は模索中です。皆で一緒に考えましょう。

受講生 アンケートから抜粋

- ★ 拍読みの難しさ。音の高低の受取り方。色々勉強になりました。
- ★ 聞く耳を育てる。自分の注意点が良くわかったので、次からの勉強に生かして行きたいと思う。
- ★ 字を音にするのではなく、意味内容を音声にする。存在感のある読み方をする。自然の息遣い。
- ★ 「間」の大切さを再度、深く感じさせて頂きました。姿勢の大切さも・・・このセミナーに参加させて頂き、いつも基本に立ちかえらせて頂いています。

～ ～

NHK朗読セミナー受講者の声

太子町朗読グループ「言の葉」 鴨志田 たづ子

10月9日、姫路会場にてCコースに参加。講師は齋藤季夫先生。大変蒸し暑い日で先生のシャツの背中がびっしょりなのに驚きでした。気合の表れなのかと、私は連続して毎年受講させて頂き、講師先生への出逢い、顔なじみの受講者と共に勉強できるこの日をとても幸せに感じています。受講するたび「基本の大切さ」を痛感しています。私の大好きな言葉です。「一を習いて十を知る。そして、また戻る。元のその位置」。今年「喜寿」の私ですが、来年もまた受講できる事を願っています。感謝・感謝の毎日です。

山 山

グループ紹介
数珠繋ぎ



グループ紹介数珠繋ぎは20回目を迎えます。今回はE-2朗読ボランティアふきのとう山崎の紹介です。

宍粟市 朗読ボランティア ふきのとう山崎

春 名 芳 子

結成から28年目、現在、会員15名。市広報、社協だより、図書館だより等の吹き込みをして、利用者さんに届けています。「利用者さんとの交流会」も年1回行い、お菓子やお茶と一緒にいただきながら、ともに歌い、ゲームをしたり、朗読を聴いて頂いたりする中で、利用者さんからの感想や希望をお聞きしています。また、施設訪問も月1回行い、朗読を中心にして楽しく交流を深めています。「より聞きやすい朗読」を目指して、今後活動を続けていきたいと考えています。

お知らせ

ポシエットがインターネットで見られます！

ポシエットが神戸ライトセンターのホームページに掲載されています。

カラーで掲載されていてとても読みやすいですよ！

神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jp.org>) を開き、所属団体の項目から

「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。





第16回中山ワンダフルフェスタを終えて (高橋真梨子コンサート)



10月11日(金)午後4時開場、神戸国際ホールにて「高橋真梨子コンサート」が開催されました。今年も中山視覚障害者福祉財団様のご厚意により多くの朗V連メンバーが楽しいひと時を持つことが出来ました。私たちの活動にご支援とご理解を頂きありがとうございます。

第16回 中山ワンダフルフェスタに参加して

「松ぼっくり」 京 泉

初めての参加でしたが、トラスコ中山の多くの社員の方が、コンサートが始まる前も、終わった後も、事故のないように、細心の注意と心配りをされておられる姿が心に残りました。コンサートの前に盲導犬の貸与式がありました。公演では、高橋真梨子さんの声量が素晴らしく楽しく、感動的なコンサートでした。コンサートに来られた沢山の人の顔が輝いてとても幸せそうでした。来年もぜひ参加できることを願っています。



利用者さんとの 交流会を開催しました

むつみ会 廣岡 順子

9月30日(月)近年毎年恒例になった、視覚障害者協会の皆さんとの交流会を開催しました。午前中は、それぞれの班に別れて、要望や気付いたことを話合いました。



質 問 : お送りしたCDは聞きやすいですか。?
利用者 : 声の音量がぶれると聞きづらいな。
ゆっくりした読みで。

質 問 : どういう情報をCDに入れて欲しいです

利用者 : 身近で体験して訴えるものを・・・。
短編小説なども欲しい。

質 問 : 構成はいかがですか。?

利用者 : 現状で良い。

質 問 : 「広報たかさご」のご案内は、聞きやすいですか。?

利用者 : 大変わかりやすいです。



午後からは、利用者さんのオールキャストで、時事や時の人を入れたデコボコ劇団「太平洋の一日」の寸劇。むつみ会は、朗読「むつみの夢チャンネル」と題して、江戸小話 2話と、名曲アルバム 2曲、両方とも大変好評でした。その後はゲームとクイズ de わいわいがやがやくくく。

最後は視覚障害者協会の会長のピアノの演奏で、みんな一緒に合唱して楽しくおえることが出来ました。



アイライトフェア2013が開催

11月3日(日)神戸葺合文化センターにてアイライトフェアが開催されました。当日は雨にもかかわらず、和歌山、高知、滋賀、福島と遠方からの参加もあり、100名を超える多くの皆さんが集まりました。まず、ミニコンサート高尾美智子さんの歌で始まりました。次は、日比野清氏による「視覚障害者のトータルサポートにおける相談支援の大切さ」についてと題しての基調講演会。その後、仙台、京都など現場で視覚障害者をサポートされている方たちによるパネルディスカッションがありました。パネリストたちの相談支援に寄せる熱い思いで会場は大いに盛り上がり、予定時間をオーバーするほどでした。厳しい現状を踏まえ、これからの課題を考えさせられる実りある会でした。

ご 報 告

音訳図書の依頼を受け次のグループの皆さんにデージー録音・作業等をお願いしました。



依頼者	本の題名	支援グループ	方法
腎友会	広報誌(年4回発行) 4月・7月・10月・1月	むれの会	デージー録音
酒井秀子さん	魂のめぐりあい	明朗会	テープからCDへ
	良い時代の生活365章	明朗会	テープからCDへ
	奇蹟の脳	檜の木G	デージー録音
	神ひとに語り給う	言の葉	テープからCDへ
	生活と人間の再建	言の葉	テープからCDへ
	日本のくに物語	ほほえみ	デージー録音
	女性の書	ほほえみ	デージー録音
川中正人さん	CAROL(キャロル)	ともしび	テープからCDへ

以上9冊依頼を受けました。ご協力頂きましたグループの皆さん有難うございました。

☆☆

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら、下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地区	氏名
A	東部・北部地区	松本喜代子(朗読Vかけはし)
B	神戸・明石地区	本郷のぞみ(山朗研)
C	淡路地区	余川深雪(朗読G潮騒)
D	東播地区	中根弘子(三木市朗読Vむれの会)
E	西播地区	福島悦子(太子町朗読G言の葉)

ポシエットの内容に関するご連絡、ご質問は、
携帯電話 080-5703-8543(朗V連代表)までご連絡ください。